

小柳津勝五郎

（さやしのぶろう）

農法研究家。

弘化四年（1847年）十一月廿二日岡生丸

大正11年（1922年）1月5日歿（1867年1月5日）。愛知縣農業試驗場を務めた。
燒土肥料を創案し、煙炭肥料を中心とする「大理農法」を提倡。

著書『貯肥收穫大理農法』（明治四十五年）、『十五年實業大作業社』
等。